

山形県広報誌県民のあゆみ令和4年7月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和4年7月号 第628号

県民のあゆみ7月号

県民の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症関連情報（2ページ）

特集 第6回「山の日」全国大会開催！（4ページ）

奏であう人 地域資源を生かした製品づくり（8ページ）

潜入レポート！ 鶴岡市立加茂水族館（愛称・クラゲドリーム館）（16ページ）

表紙写真キャプション

登山が趣味の加藤さん夫妻。2019年の移住フェアがきっかけで神奈川県から飯豊町に移住しました。雅史さんはチェーンソーオペレーターとして林業に、絵美さんは地域おこし協力隊としてアウトドア指導に従事し、仕事でも山に携わるお二人です。（撮影場所：山形県源流の森）

<2から3ページ>

タイトル

新しい日常を県民の皆さまとともに

県民の皆さま、事業者の皆さまには、新型コロナの感染防止対策にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

新型コロナについては、依然として収束までには至らない状況にありますが、近年中止となっていたイベントが再開されるなど、コロナ以前の生活を少しずつ取り戻してきております。

このため、少しでも新規感染者数を減らし、医療提供体制がひっ迫するリスクを下げる 것이重要になりますので、引き続き、油断なく警戒をしながら、可能な限り日常生活を取り戻す取組みを継続していく必要があります。

県民の皆さまには、状況に応じた不織布マスクの正しい着用や、ゼロ密（密閉、密集、密接の全てを避ける）、換気の励行、こまめな手洗い、消毒など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。特に、マスクの着用につきましては、これからの時期は熱中症のリスクが高まりますので、場面に応じた適切な着用をお願いいたします。

県としましても、県民の皆さまの命と暮らしを守るため、感染防止の徹底や保健・医療提供体制の確保に努めながら、経済回復に向け、しっかりと取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

山形県知事 吉村美栄子

「新しい旅のエチケット」を守り、安全・安心な旅行を！

これから夏休みやお盆など、夏の観光シーズンを迎えます。県内では「出羽三山」の開祖であり疫病退散の神でもある蜂子皇子（はちこのおうじ）御尊像の特別拝観や最上三十三観音子歳連合御開帳など本県が誇る精神文化の特別イベントが実施されており、山形花笠まつりや赤川花火大会をはじめ各地でさまざまなお祭りやイベントが開催される予定です。

「新しい旅のエチケット」をお守りいただき、ぜひお楽しみください。

詳しくはこちら 観光庁ウェブサイト

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/travel etiquette/index.html>

日頃から、健康チェックを習慣に

お店・宿選びの選択肢、感染対策忘れずに

認証店などの利用

旅行前、体調不良？旅控え

宿泊編

黙浴で、静かにゆったり「いい湯だな」

観光施設ショッピング編

お土産を選ぶ前後に、手の消毒

交通編

風入れて、車内も心もリフレッシュ

車内・機内でも、マスク忘れぬエチケット

問い合わせ

観光復活戦略課 電話番号 023-630-3821

県内の観光情報は検索窓に「やまがたへの旅」と入れてクリック

(注釈) 5月31日時点の情報です。最新情報はホームページをご確認ください。

タイトル 県政できごとアラカルト こんなことがありました

1) 地域連携 IC カード「cherica(チェリカ)」サービス開始！

「yamako cherica」「shoko cherica」サービス開始記念式典（令和4年5月14日、山形市）
県が導入を支援した、県内の路線バス等をキャッシュレスで利用できる地域連携 IC カード「cherica(チェリカ)」のサービスが5月14日から開始されました。

「cherica」は、山交バス株式会社、庄内交通株式会社、山形市、米沢市、山交ハイヤー株式会社の対象路線バスの乗車券や定期券などの地域独自サービスに加え、Suica エリアでの電車の乗車券

や買い物でのキャッシュレス決済などSuicaのサービスも利用できる便利なカードです。「cherica」を利用することで、小銭や両替が不要になるほか、対象路線バスの利用に応じて、バス運賃に利用できるポイントが付与されます。

記念式典に出席した吉村知事は、「デジタル技術の活用により、利用しやすく、効率的な公共交通ネットワークの構築を進め、地域公共交通のさらなる利便性向上と利用拡大を図りたい」とあいさつしました。

写真キャプション 運賃箱に「cherica」をかざすだけでバス運賃を支払えます

2) 政府の施策等への提案を実施（令和4年5月25日、東京都）

吉村知事が坂本県議会議長とともに、関係府省を訪れ、「令和5年度 政府の施策等に対する提案」に係る提案活動を行いました。

この取組みは、県や県議会、市町村などで構成する山形県開発推進協議会（会長：吉村知事）が、本県の発展のために必要な施策を取りまとめ、今後の政府の施策展開および令和5年度の予算編成に向けて政府に提案するものです。

吉村知事と坂本議長は、赤池内閣府副大臣、中村農林水産大臣、島村厚生労働大臣政務官、岩田経済産業大臣政務官および加藤国土交通大臣政務官に対し、「子育て費用の無償化等による子育て世帯の経済的負担の軽減」や「主食用米を中心とした水田農業への支援の充実」など所管の主要な項目について、山形県の総意として提案を行いました。提案の実現に向け、今後ともさまざまな機会を捉えて政府に働きかけてまいります。

写真キャプション 中村農林水産副大臣(中央)に提案書を渡す吉村知事と坂本県議会議長

<4から5ページ>

タイトル

特集

北海道・東北初

第6回「山の日」全国大会開催！

山岳県「山形」の山の魅力を全国に発信

山形県は、その名が示すとおり、日本有数の山岳県です。

この恵まれた山岳資源の魅力と、8月に開催する全国イベントについてご紹介します。

本県の山岳資源の現状と取組み

本県には、世界に誇るべきさまざまな山岳資源があります。日本百名山に選定されている名峰6座のほか、山岳信仰の対象となり精神文化の礎となっている出羽三山等の山々もあります。また、クアオルトなど健康づくりに利用されている山や、地域で身近に親しまれている里山も数多くあります。

県では、多様な魅力を持つ本県の山々を県内外の皆さんから広く知ってもらい、愛着を深めていただくとうと、祝日「山の日」の制定を機に平成28年度、「やまがた百名山」を選定しました。以降その魅力を発信するとともに、地域主導による環境保全の取組みを支援しています。

また、本県を代表する山岳資源である「蔵王の樹氷」を守るため、地蔵山頂付近で集合的に枯死したオオシラビソ(別名アオモリトドマツ)林の再生に取り組む林野庁への協力を進めています。

山岳県「山形」を全国に発信！

今年8月には第6回「山の日」全国大会が蔵王を主会場に開催されます。北海道・東北地域では初めての開催となります。

大会では、多様な山岳に囲まれた本県の山の魅力とともに、山を支える人々の営みや山が育む食や温泉などの魅力を全国に広く発信していきます。

Q. 「山の日」全国大会ってなあに？

山の日趣旨「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」の浸透を図り、山に関する様々な課題や、山の未来のあり方について考える機会とするため、8月11日の山の日に行われている全国イベントです。

共通テーマ：山と共に 人と自然がつながる社会へ

「山の日」展示リレー実施中

「山の日」全国大会の「山の日帽(やまのひぼう)」「山鐘(さんしょう)」などを展示しています。

【スケジュール】

上山市役所 7月1日から7月8日

山形県庁 7月12日から大会まで

写真キャプション1 山の日帽

写真キャプション2 山鐘

山形大会開催に向けて

県では、第6回「山の日」全国大会の参加者が蔵王での記念登山や式典などを通して「山形らしさ」を感じることができる大会となるように取り組んでいます。

県民の皆さん、ぜひ歓迎フェスティバルや県内各地の「山」に関するイベントに足を運んでいただくとともに、この機会に身近な山に親しみ、「やまがたの山」の魅力満喫してみませんか。

第6回「山の日」全国大会やまがた 2022

開催日：令和4年8月10日(水曜日)から11日(木曜日・祝日)

開催地：山形県蔵王周辺(山形市および上山市)

大会テーマ

山を想い、山を愛し、山と生きる。

樹氷輝く蔵王のやまがたから、未来へ

奥深い山の魅力や山の教えを山形県から未来に向けて発信する大会にしたいという思いを込めました。

山形大会ロゴマーク

蔵王の自然の豊かさと魅力を、御釜、コマクサ、カモシカ、樹氷などのイラストで賑やかに表現

しています。

8月10日（水曜日）

記念登山

御釜、熊野岳、地蔵岳を巡り蔵王の魅力を体感します。樹氷を形成するオオシラビソ（別名アオモリトドマツ）の現状と再生の取組みも見学します。

「山の日」全国大会のホームページはこちら

（記念式典・記念行事のオンライン視聴もこちらから）

<https://yamagatayama.com/yamanohi/>

8月11日（木曜日・祝日）

記念式典 9時から10時35分（オンライン配信予定）

本県の山々の魅力や山を支える人々の活動を紹介。次期開催県へ「山の日帽（やまのひぼう）」を引き継ぎ、バトンを渡します。式典の始まりと終わりには「山鐘（さんしょう）」を鳴らします。

記念行事 10時50分から12時（オンライン配信予定）

山に縁のあるゲストを招きトークイベントを開催。山に関する身近なことから、登山の魅力、環境保全などについて参加者みんなで考えます。

歓迎フェスティバル 10時から16時（来場自由）

会場：やまぎん県民ホール前広場

クラフト体験やご当地グルメなど山の恵みや山形の食を体感できる賑わいイベントを開催します。

（注釈）記念式典、記念行事、記念登山の参加者募集は終了しています。

（注釈）写真は過去大会の様子です。

山に関するイベントの紹介

上山市（7月下旬から9月上旬の毎週日曜日）

<蔵王御釜マジックタイムツアー>

夜明け前の蔵王御釜に登頂し、幻想的なご来光を望むツアーです。

場所 蔵王「御釜」

問い合わせ 上山市観光物産協会 電話番号 023-672-0839

鶴岡市（7月中旬）

<初夏の月山弥陀ヶ原観察会>

初夏の弥陀ヶ原湿原を楽しみます。

場所 月山八合目弥陀ヶ原周辺

問い合わせ 月山ビジターセンター 電話番号 0235-62-4321

このほか数多くの山や自然に関するイベントが開催されています。「山の日」全国大会ホームページをご覧ください。

初心者向け やまがた百名山を紹介します

金峯山（きんぼうざん）

標高：471メートル

場所：鶴岡市

コース：青龍寺コース

時間：歩きで片道1時間30分

登山適期：2月下旬（山開き祭り）から11月中旬

金峯山は、国指定名勝であり、庄内海浜県立自然公園にも指定されています。山頂にある金峯神社本殿は国指定重要文化財に指定されています。

キャプション 金峯山 中の宮から先の登山道

亀割山（かめわりやま）

標高：594メートル

場所：新庄市・最上町

コース：休場口コース

時間：歩きで片道1時間30分

登山適期：6月から10月

その昔、源義経一行が平泉へ逃げのびる際に通ったのが、この山を越える亀割峠だったとの言い伝えが残っています。周辺には、「弁慶の投げ松」や「義経弁慶の硯（すずり）石」などの見所もあります。

キャプション 義経大橋から望む亀割山

斜平山（なでらやま）

標高：660メートル

場所：米沢市

コース：東山峰の道コース

時間：歩きで片道4時間

登山適期：通年

斜平山は、御成山、羽山、愛宕山、笹野山、栃窪山の山々の総称です。南北にびょうぶを立てたような急峻な山肌をしています。市民の里山として親しまれ、市民登山などが開催されています。

キャプション 春の斜平山

もっと知りたい方はこちらから

やまがた山 <https://yamagatayama.com/>

フォトコンテスト開催中

やまがた百名山 Instagram <https://www.instagram.com/yamagatayama/>

<6 から 7 ページ>

タイトル

さくらんぼ新品種「やまがた紅王」がついにプレデビュー

山形県農業総合研究センター園芸農業研究所で開発され、平成 30 年に栽培が始まった「やまがた紅王」が、今年、待ちに待ったプレデビューを迎えます。本県のさくらんぼの将来を担う期待の新品種です。

公式ホームページはこちら

<http://yamagata-beniou.nmai.org/>

品種育成の経緯と現在の栽培状況

「やまがた紅王」が誕生するまで

本県は全国のさくらんぼ生産量の 7 割以上を占める日本一の産地です。現在に至るまでには、時代に合わせた栽培品種の改良と、約 150 年にわたり先人が培ってきた栽培技術があります。「やまがた紅王」は、こうした本県の風土とさくらんぼの歴史を背景に、食味の良い主力品種の「佐藤錦」を祖母に、大玉で果肉が硬い「紅秀峰」を母親として、平成 9 年に園芸農業研究所において交配されました。

生産者の「やまがた紅王」に懸ける期待

さくらんぼ栽培のプロフェッショナルである本県の生産者の皆さんから高い評価と期待をいただき、すでに約 2,400 戸の経営体に 26,000 本余りの苗木が導入されています。

品種の特長

- 3L から 4L 中心の大玉で「紅秀峰」よりも一回り大きい
- 糖度は「佐藤錦」並みで、酸味が少ないため糖酸比（注釈）が大きく、甘さが際立つ
（注釈）糖酸比は糖度の値を酸度の値で割った数値。糖酸比が大きいほど甘味を感じやすい
- 着色良好でツヤがあり見た目がきれい
- 果肉が硬く、日持ちが良い
- 収穫期は「佐藤錦」と「紅秀峰」の間の 6 月下旬から 7 月上旬

写真キャプション 果実サイズ比較

果実の販売計画

- 令和 4 年 先行販売（プレデビュー）
- 令和 5 年 本格販売

今年はプレデビューのため販売数量が限られますが、本格販売以降、生産量は年々増加します。

写真キャプション たわわに実る「やまがた紅王」

紅王の品種特性は、
とびきりの大玉！
日持ちが良い！
甘さ際立つ！

問い合わせ 園芸大国推進課内 やまがた紅王ブランド化プロジェクト会議 電話番号
023-630-2453

やまがたの誇れる景観を再発見しませんか？

本県には、山河や海、まちなみや人々の営みが織りなす素晴らしい景観が数多くあります。県では、地域の誇れる景観を体感できる視点場（ビューポイント）を指定した「やまがた景観物語」を広く情報発信するとともに、今年度新たに、県民の皆さんを対象に地域の景観を再発見するための3つの事業をはじめます。

景観出前授業

小・中学生を対象とした「景観出前授業」を実施します。

景観に精通した県職員が学校を訪問し、子どもたちに地域の景観の魅力や良好な景観を守り育てる大切さなどをわかりやすく解説します。総合学習にも活用できますので、お気軽にご相談ください。

●実施校

- ・ 上山市立上山小学校
- ・ 東根市立高崎小学校

写真キャプション 小学校での出前授業の様子

景観探険まちあるき

まちあるきを通じて、地域の景観の魅力を再発見する「景観探険まちあるき」を開催します。景観の専門家が、地域の景観の見どころや楽しみ方をわかりやすく解説します。

開催地域も募集中ですので、興味のある方はお問合せください。

●新庄市 「新庄城下の歴史探険まちあるき」

開催日時：7月2日（土曜日）9時から

集合場所：最上公園内（注釈）申し込み不要

●飯豊町 「散居集落の景観探険まちあるき」

9月23日開催予定。詳細は、やまがた景観物語公式ホームページでお知らせします。

写真キャプション 飯豊町田園散居集落

広告景観コンテスト

景観やまちなみに調和し、地域活性化につながる屋外広告等を表彰する「広告景観コンテスト」を開催します。たくさんの応募をお待ちしています。

●募集期間：7月1日から9月30日

●募集内容

- ・屋外広告物部門
- ・広告景観デザイン部門

テーマ「また来たくなるまち」

詳細は、やまがた景観物語公式ホームページをご覧ください。

「やまがた景観物語」おすすめビューポイントを巡ってみましょう！

山形ならではの美しい景観を体感できる「ビューポイント」は、現在60箇所あります。公式ホームページでは、ビューポイントの見どころやアクセス情報、付近の観光スポット等を紹介しています。この機会に県内各地を巡ってみませんか。

写真キャプション 飛島から見る日本海と鳥海山

やまがた景観物語公式ホームページ

<https://yamagata-keikanmonogatari.com/>

美しいドローン映像満載!公式 YouTube チャンネル

<https://m.youtube.com/channel/UCxaOZBMvML0uUH8R3Pc-WPw>

Instagram フォト・ムービーコンテスト

四季折々のビューポイントの魅力を広く発信するため、Instagram フォト・ムービーコンテストを開催しています。各季節賞は閲覧者の「いいね!」の数で決定します。皆さんの参加をお待ちしています。

Instagram 公式アカウント

https://www.instagram.com/keikan_yamagata/

問い合わせ 県土利用政策課 電話番号 023-630-2581

<8 から 9 ページ>

タイトル **奏であう人** ボリューム 66

撮影場所 有限会社玉谷製麺所（西川町）

キーワード **地域資源を生かした製品づくり**

地元の「もったいない」を「おいしい」に変える玉谷さん、庄内産生乳の可能性を模索する田村さんのお二人に地域資源を生かす製品づくりのお話をお聞きしました。

玉谷 貴子（たまや たかこ）さん（西川町）

昭和 52 年生まれ。新潟県出身、西川町在住。有限会社玉谷製麺所の社長である夫との結婚を機に山形へ1ターンし、専務取締役を務めながら同社の製品企画開発に携わる。東日本大震災後にはパスタ開発に注力し、2014 年にはパリで開催された世界最大規模の見本市に出展。以後、山形の食資源を用いて、食品ロスの軽減にもつながる数々のパスタを市場に生み出し、注目を集めている。

写真キャプション 東北芸術工科大学の「共創のテーブル」プロジェクトへの参加をきっかけに生まれた、目にも美しいパスタたち。山形の自然をモチーフとしたユニークなパスタには、規格外の農産物など地域の食材を生かそうとする玉谷さんの熱い思いが込められている。

田村 耕永（たむら こうえい）さん（酒田市）

昭和 54 年生まれ。酒田市出身、同市在住。株式会社田村牛乳の代表取締役。県内大手の乳製品加工会社での勤務を経て、家業である同社へ入社。2019 年の株式会社化を機に代表取締役に就任し、以来業界に新たな風を吹き込もうと奮闘。現在もコロナ禍の逆風のなか、庄内産生乳を使用したモッツアレラチーズをはじめとした新製品を開発するなど、積極的に新事業を開拓中。

写真キャプション 新事業の第一弾となった、庄内産生乳でつくったモッツアレラチーズ。その味わいは高く評価され、後の乳製品づくりにつながる原動力となった。売れる乳製品をつくることで庄内を広くアピールしたいと、最近では旅の思い出や話題づくりになるよう土産物事業にも着手。

地元の食材に注目し新たなものづくりの扉を開く

「何も分からないまま、パスタ事業に着手しました。その時は、私のライフワークになるなんて考えもしませんでした」。

ある日、「そば」と「うどん」が主軸の事業の傍らで、パスタの製造をすることになった玉谷さん。「試行錯誤の連続でしたが、西川町の自然風景にちなんで『雪結晶パスタ』をつくったところ、新たな道が見えてきました」。

冬景色の次には春の風景のパスタを求める声が多く、『サクラパスタ』の開発に挑んだそうです。前回の経験から形状こそ容易にできたものの、色の再現は困難を極めたそう。「偶然、地元の農家さんが規格外の赤いピーツを持ってきてくれたのです。普通なら捨てられてしまう食材でしたが、私にとっては春のパスタを完成させる重要な鍵でした」。

規格外のピーツを使うことで、美しいピンク色をしたパスタが完成。同時に、廃棄される食材にも使い道があり、食品ロスを軽減できる可能性に気づいたそうです。

一方、田村さんは、庄内産生乳を使用したモッツアレラチーズの開発を通し、確信めいた思いを抱いていました。

「売れる乳製品の開発を続けていけば、地元の牛乳の美味しさを広めるとともに、酪農家さんの下支えになることもできるはず」。

そして、チーズの製造過程でできる副産物のホエイを使い、アイスクリームやシャーベットの製造にも乗り出しました。パスタと乳製品。製品こそ異なるものの、地域資源を生かすことで、事業の新たなフィールドを切り拓いたお二人の取組みは、SDGs の実現にもつながります。

地域資源の価値を見直し豊かな山形を次代へとつなぐ

「地方の人口減少が進むなか、地域の活性化や観光客の誘致は、より一層大切です。牛乳販売店の私ができることは、さまざまな乳製品をつくり、庄内産牛乳の美味しさをアピールし続けていくことで、地域の未来さえ変えられると信じています」。

田村さんの言葉に、玉谷さんは深くうなずきます。

「地域の生産者から、小麦を麺にしてほしいという要望を受け、玉谷製麺所は始まりました。私にとってのパスタ事業も同じで、パスタづくりを通して地域資源に付加価値を生みだし、消費者にも生産者にも還元するもの。それは玉谷製麺所の原点であり、私の信念です」。

山形は、とても地域資源に恵まれた場所。しかし、どこの地域にも「もったいない」ものがきっとあり、視点を変えて価値を生み出すことができれば、地域と、そこに住まう人々へ還元できるはずだと続ける玉谷さんに、田村さんが応えます。

「同じ食のフィールドにいる私たち。お互いが進む道の先で、良い意味で業界の固定観念を崩せるといいですね。気づき次第で、価値が無いと思っていたものが貴重なものにもなる。私たちの活動が、いつしか地域の活性化につながり、次代を生きる人たちに豊かな山形を引き継ぐための一助になれば嬉しいです」。

<10 から 11 ページ>

タイトル **県議会だより** 第 91 号

県会議の最新情報コチラから今すぐアクセス！

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

常任委員会の役割

常任委員会は、議案などについてその専門ごとに詳しく審査する常設の委員会です。

その審査結果は、本会議での採決の際に重要な判断材料となるため、委員会の所管事項について認識を深める調査・活動を行っています。

各委員会の所管事項および4月閉会中委員会の主な審議項目などは次のとおりです。

各委員会の活動状況はこちらからご覧いただけます。

https://www.pref.yamagata.jp/600006/iinkai_index.html

総務常任委員会

行政や財政の運営、地域振興や国際交流、私学振興、交通政策、情報化、危機管理など

◎4月閉会中委員会の主な審議項目

- ・令和4年度組織機構の改正のねらいと職員定数の状況について
- ・県職員の定年延長に向けた取組みについて

◎現地調査（令和4年5月16日から18日 村山・置賜地域）

- ・市と高校が連携して実施するまちづくりプロジェクトの状況などについて調査

写真キャプション 常任委員会の審査の様子

文教公安常任委員会

学校教育や社会教育の振興、生涯スポーツの振興、警察行政など

◎ 4月閉会中委員会の主な審議項目

- ・中高一貫校「東桜学館」の開校時に入学し今春卒業した生徒の進路状況について
- ・山形駅前の店主暴行死事件を踏まえた防犯対策について

◎ 現地調査（令和4年5月11日から13日 庄内・最上地域）

- ・県立高校のICT教育の取り組みや駐在所の運用状況などについて調査

写真キャプション 現地調査の様子

厚生環境常任委員会

環境・エネルギー政策、子育て支援、保険、医療、福祉、病院事業など

◎ 4月閉会中委員会の主な審議項目

- ・新型コロナウイルス感染症クラスターに対する県の対応状況について
- ・「山の日」全国大会の準備状況について

◎ 現地調査（令和4年4月26日から28日 庄内・最上地域）

- ・市町村の鳥獣被害対策や子育て支援などについて調査

写真キャプション 常任委員会の審査の様子

農林水産常任委員会

農業、畜産、林業、水産の振興、農地や漁港の整備など

◎ 4月閉会中委員会の主な審議項目

- ・東北農林専門職大学（仮称）が目指す学生の育成方針について
- ・コロナ禍における令和3年産米の販売状況と令和4年産米の販売戦略について

◎ 現地調査（令和4年5月18日から20日 村山・置賜地域）

- ・農観連携事業やスマート農業・先進技術などについて調査

写真キャプション 現地調査の様子

商工労働観光常任委員会

商工業の振興、労働対策、観光・文化の振興、スポーツによる地域活性化など

◎ 4月閉会中委員会の主な審議項目

- ・やまがた冬割キャンペーンの実績およびやまがた春旅キャンペーンの状況について
- ・電気料金高騰による県内産業への影響および政府への提案について

◎ 現地調査（令和4年5月11日から13日 村山・置賜地域）

- ・新型コロナによる温泉観光への影響や県内企業の先端技術などについて調査

写真キャプション 常任委員会の審査の様子

建設常任委員会

県土（道路・河川・港・空港等）の整備、公営企業（電気、水道等）の推進など

◎ 4 月閉会中委員会の主な審議項目

- ・今年度実施予定の A I を活用した道路維持管理の取組みについて
- ・電力需給ひっ迫警報を受けた県企業局発電所の対応について

◎ 現地調査（令和 4 年 4 月 25 日から 27 日 村山・置賜地域）

- ・県管理道路のバイパス化や河川の防災・減災対策工事などについて調査

写真キャプション 現地調査の様子

東北中央道、日沿道の建設促進と羽越・奥羽本線等の高速化促進を要望

5 月 11 日、東北中央自動車道・日本海沿岸東北中央自動車道の全線の早期供用と、羽越・奥羽本線等の高速化促進に向け、本県など沿線各県の県議会で構成する関係協議会が国土交通省の加藤鮎子政務官、泉田裕彦政務官、東日本旅客鉄道株式会社に対して要望しました。

北海道・東北六県議会議長会議が山形県で開催

5 月 23 日、山形市内で北海道・東北六県議会議長会議が開催されました。会議では、本県の坂本議長が座長を務め、高齢者・障がい者施策の推進、交通網の整備促進と財源確保、食料・農業・農村政策の確立など計 22 項目を政府などに要望することを決定しました。

議会用語

議会運営委員会

会期、日程その他議会運営に必要な事項について協議・審査を行います。

広報・広聴委員会の紹介

県会議では、「広報・広聴委員会」を設置し、「開かれた県議会」に向けて取り組んでいます。委員会では、この「県議会だより」の編集内容も協議しています。県議会に対する理解がさらに深まるような紙面づくりや情報提供に努めていきます。

写真キャプション 令和 4 年度 広報・広聴委員会の委員

県議会の情報は、山形県議会ホームページに満載です。ぜひご覧ください!!

- 1 定例会の概要や議会の日程
- 2 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- 3 可決した意見書・決議の内容
- 4 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- 5 会派ごとの議案等に対する賛否状況など

問い合わせ 編集発行／県議会事務局議事調査課 電話番号 023-630-2846

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

タイトル

SDGs を知ろう！第2回

持続可能な「やまがた」に向けて

SDGs で掲げられている 17 のゴール（目標）

その内容と私たちができる身近な取り組み例を全 6 回シリーズで紹介します。

SDGs とは？

2015 年に国連で採択された「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals）の略称で「誰一人取り残されることのない」持続可能でより良い社会を目指す世界共通の目標です。

すべての人に健康と福祉を

全ての人々に健康的な生活を確保し、福祉を充実しよう。

〈関連する県の主な施策〉

- ・楽しみながら参加できるウォーキング大会の開催
- 〈みんなで今日からできるSDGs〉
- ・楽しみながら運動習慣の定着を図ろう
- ・手洗い、うがいをしよう
- ・バランスのよい食事を心がけよう

質の高い教育をみんなに

全ての人々が公正で質の高い教育を受けられるようにするとともに、生涯にわたって学習できる機会を増やそう。

〈関連する県の主な施策〉

- ・県立学校における ICT 機器の活用の推進
- 〈みんなで今日からできるSDGs〉
- ・多くの人の意見を聞き、学び合おう
- ・オンラインなど新しい技術を活用して学ぶ機会を増やしていこう

ジェンダー平等を実現しよう

男女平等を達成し、全ての女性の能力発揮の可能性を伸ばそう

〈関連する県の主な施策〉

- ・男女共同参画等に関する出前講座の実施
- 〈みんなで今日からできるSDGs〉
- ・学校や職場、家庭などで男女の役割を決めつけていないか考えてみよう
- ・家事や育児を平等に分担しよう

問い合わせ 企画調整課 電話番号 023-630-2896

詳しくは検索窓に「山形県SDGs」といれてクリック。

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

置賜エリア 地元の熱意でよみがえり守られる黒沢峠敷石道

自然と歴史を体感できるトレッキングに絶好の黒沢峠は、越後米沢街道・十三峠の一つです。ブナやナラの林間に約3600段の敷石道が続いているのが特徴で、文化庁の「歴史の道百選」に選定されているほか、県の「未来に伝える山形の宝」にも登録されています。

敷石は江戸時代に整備されたもので、『日本奥地紀行』を著した英国人旅行作家イザベラ・バードも、明治11年にこの街道を訪れています。しかし、明治17年の小国新道の開通に伴い黒沢峠の役割は終わり、敷石は土中に埋もれてしまいます。

貴重な地域資源に光を当てるべく、約100年後の昭和55年から5年間、地元の黒沢峠敷石道保存会により敷石の掘り起こし復元活動が行われました。現在は、草木の刈払いなど保全管理も行き届いて、とても歩きやすくなっています。

季節を問わず、黒沢峠の景観には格別の趣があります。例えば梅雨の時期は、古道全体の閑静で落ち着いた雰囲気の中に、敷石がまとう苔の深緑が鮮やかで美しい姿を見せてくれます。

黒沢峠お祭り広場から市野々側駐車場まで、ゆっくり歩いて片道2時間の行程です。皆さんもぜひ、この隠れた名所でのトレッキングをお楽しみください。

写真キャプション 苔が美しい敷石道でのトレッキング

問い合わせ 置賜総合支庁建設総務課 電話番号 0238-26-6099

県内おススメ文化・スポーツ情報

やまぎん県民ホールイベント情報

東京バレエ団〈HOPE JAPAN 2022〉

2020年「くるみ割り人形」で夢の舞台を届けた東京バレエ団が再び山形に！日本を代表するダンサー上野水香が魅せる鬼才ベジャール振付の伝説的プログラム「ボレロ」にご期待ください。

開演日時

8月2日（火曜日）午後7時

演目

「ボレロ」（主演：上野水香）「ギリシャの踊り」（ソロ：柄本弾）「パキータ」

（注釈）音楽は特別録音による音源を使用

料金

S席 10,000円 A席 8,000円

B席 6,000円 C席 4,000円

（25歳以下各席種半額）

オーケストラ・アンサンブル金沢 山形公演 夏だ、祭だ、秋川だ!!

伝統文化が息づく街・石川県金沢市を拠点とするプロ・オーケストラがテノール歌手の秋川雅史と共に奏でる名曲の数々をお楽しみください。

開催日時

8月29日（月曜日）午後7時

出演

秋川雅史（テノール）、鈴木織衛（指揮）

オーケストラ・アンサンブル金沢

演目

千の風になって、花は咲く、荒城の月ほか（予定）

料金

S席 3,000円 A席 2,500円

一般販売

7月2日（土曜日）午前10時から

山形交響楽団定期演奏会情報

第302回定期演奏会

開演日時

7月9日（土曜日）午後7時

7月10日（日曜日）午後3時

出演

指揮・ヴァイオリン：ドミトリー・シトコヴェツキー

演目

シューマン：歌劇「ゲノヴェーヴァ」序曲、オネゲル：交響詩「夏の牧歌」、ドヴァルザーク：
チェコ組曲、ブラームス：ヴァイオリン協奏曲ニ長調

会場

山形テルサ（山形市）

前売券

A席 4,800円 ほか

東北 UNITED

山響×仙台フィル合同演奏会

開演日時

7月23日（土曜日）午後3時

出演

指揮：飯森範親

共演：仙台フィルハーモニー管弦楽団

演目

ブルックナー：交響曲第8番ハ短調

会場

やまぎん県民ホール（山形市）

前売券

S席 5,000円 ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

開催日時

7月2日（土曜日）午後7時

対戦チーム

栃木FC

開催日時

7月10日（日曜日）午後7時

対戦チーム

ロアッソ熊本

開催日時

7月23日（土曜日）午後7時

対戦チーム

ザスパクサツ群馬

開催日時

7月30日（土曜日）午後7時

対戦チーム

FC町田ゼルビア

開催日時

8月13日（土曜日）午後7時

対戦チーム

ツエーゲン金沢

会場 NDソフトスタジアム山形（天童市）

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック。

問い合わせ 文化スポーツ振興課 電話番号 023-630-2903（山響）電話番号 023-630-3156（プロスポーツ）

注釈 5月31日時点の情報です。新型コロナの影響で変更となる場合がありますので、事前に問い合わせ先にご確認ください。

旬のやまがた美食レシピ**みずみずしい黄緑色のきゅうり****勘次郎胡瓜（かんじろうきゅうり）**

勘次郎胡瓜は、真室川町で栽培されている最上伝承野菜の一つです。明治時代、鮭川村から真室川町差首鍋（さすなべ）地区に伝わったことが栽培の始まりで、種を受け継いだ旧家の屋号からその名前がつけました。

収穫は、7月中旬頃ごろで、一般のきゅうりに比べると若干長さが短く、黄緑色でずんぐりしています。みずみずしく、きゅうり独特の青臭みが少ないため、生食に適していますが、ピクルスや塩漬け、さらには、スイーツなど幅広く食べられています。

今回は暑い夏にぴったりのレシピをご紹介します。

ナスの含ませ煮と勘次郎胡瓜のオクラソース

材料（2名から4名分）

ナス2分の1（30グラム）（注釈）4つに切っておく、オクラ4本、勘次郎胡瓜1本、チキンブイヨン1000シーシー、塩、コショウ少々、大葉1枚、ミョウガ1個

作り方

- 1 ナスを油で素揚げして、冷水にひたし、皮をむき、チキンブイヨンと絡め塩・コショウで下味をつける。
- 2 オクラを塩でもみ、茹でたら、冷水にさらし、小口切りにする。
- 3 勘次郎胡瓜の皮をむき、5ミリ角に切り、2と合わせて、チキンブイヨンと絡め味付けをする。
- 4 大葉とミョウガを千切りにし、水にさらし、水気を切る。
- 5 器に1を盛り、3をかけ、4を飾って完成。

詳しくは検索窓に「最上传承野菜」と入れてクリック。

問い合わせ 最上総合支庁農業振興課 電話番号 0233-29-1317

<14から15ページ>

タイトル おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和4年5月1日現在
人口総数 1,045,267人（前月比マイナス748人）
世帯数 400,470（前月比プラス1,661世帯）

注釈 5月31日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響で変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

【催し物】

オープンキャンパス情報

県内の公立学校・施設で、学校説明や施設見学、体験学習（実習）などを行うオープンキャンパスを開催します。詳しくは各学校・施設のホームページをご覧ください。

県立米沢栄養大学（米沢市）

◆日時

第1回 8月6日（土曜日）

第2回 8月7日（日曜日）

電話番号 0238-22-7340

県立米沢女子短期大学（米沢市）

◆日時

第1回 7月16日（土曜日）

第2回 7月31日（日曜日）

学科により開催日時が異なります。

電話番号 0238-22-7340

県立保健医療大学（山形市）

◆日時

7月23日（土曜日）、7月24日（日曜日）

①午前9時30分から午前11時45分

②午後0時45分から午後3時

電話番号 023-686-6688

県立産業技術短期大学校（山形市）

◆日時

7月24日（日曜日）午前9時30分から午後4時

学科別に体験授業を実施します。

電話番号 023-666-8792

県立産業技術短期大学校庄内校（酒田市）

◆日時

7月16日（土曜日）午前9時30分から正午

電話番号 0234-31-2300

県立山形職業能力開発専門学校（山形市）

◆日時

7月16日（土曜日）午前9時30分から午後3時30分

学科別に体験授業を実施します。

電話番号 023-644-9227

県立庄内職業能力開発センター（酒田市）

◆日時

7月17日（日曜日）

①午前9時30分から午前11時30分

②午後1時30分から午後3時30分

電話番号 0234-31-2700

県立農林大学校（新庄市）

◆日時

7月16日（土曜日）、7月30日（土曜日）、8月21日（日曜日）午前10時30分から午後3時30分

学校の概要説明のほか、学科別に体験学習を行います。

電話番号 0233-22-1527

【募集】

点訳・音訳・音訳校正ボランティア

養成講習会受講者募集

点字図書・録音図書を製作するボランティアの養成講習会を実施します。

◆期間

9月7日（水曜日）から約1年間

◆定員

点訳・音訳（10名程度）

音訳校正（6名程度）

◎事前説明会を開催します。

受講を希望される方は、事前に申込みの上、ご参加ください。

◆日時

7月27日（水曜日）午後1時30分から

◆会場

山形市民会館小ホール

◆申込期限

7月22日（金曜日）

申し込み・問い合わせ 点字図書館 電話番号 023-631-5930

【お知らせ】

“明るいやまがた”夏の安全県民運動（7月22日から8月21日）

夏は長期休暇や暑さによる気のゆるみ、海や川でのレジャーなどから、交通事故や水の事故、青少年の非行や身近な犯罪などが多くなる傾向にあります。県民みんなで事故を防止し、青少年の健全な育成に取り組みながら、安全で楽しい夏を過ごしましょう。

問い合わせ 女性・若者活躍推進課 電話番号 023-630-2694

『若者支援コンシェルジュ』があなたのチャレンジを応援します！

40歳位までの方（もしくは団体）が、地域活動に関して気軽に相談できる窓口を設置しています。

◆“なんでも相談窓口”

山形県を元気にする活動を始めたい方から活動中の方まで、活動する上での知りたいことや困りごとなど、お気軽にご相談ください。

◆“若者サポーター”の派遣

相談内容に応じて、地域活動の実践者（若者サポーター）が、経験と知識を生かして、現地でアドバイスや作業のサポートを行います。

◆事務局 AISOHO株式会社

電話番号 080-4732-3804（平日の午前9時から午後7時）

詳しくはこちら <https://yamagata-okoshiai.net/concierge>

問い合わせ 女性・若者活躍推進課 電話番号 023-630-2694

農家の皆様へ

「収入保険」のご案内

「収入保険」は、全ての農産物を対象に、自然災害や市場価格の低下、農業者の病気・けがなど、経営努力では避けられない原因による収入減少を補償する農業保険です。山形県農業共済組合では、

加入申込を随時受け付けています。さらに、県・市町村では、新規加入される方に対し、掛捨て保険料の一部助成（最大3万円）も行っています。

◆対象

青色申告を行っている農業者

◆申請期限

継続加入者は11月末まで

新規加入者は12月末まで

助成事業についてはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/140001/sangyo/nourinsuisangyou/nogyo/sogo/sefuthinetto.html>
↓

問い合わせ

収入保険について：山形県農業共済組合

電話番号 023-665-4700

掛金助成について：農政企画課

電話番号 023-630-2422、3315

目指せ！カーボンニュートラル

省エネ家電に買換えてやまがたのいいものをもらおう！

省エネ性能の高い家電に買換えた方に、もれなく県産米はえぬき（2合）を進呈するとともに、応募された方に抽選で県産品カタログギフトをプレゼントするキャンペーンを実施しています。

◆キャンペーン対象期間

6月15日（水曜日）から9月30日（金曜日）

◆対象者

県内に居住しキャンペーン

協力店で統一省エネラベル3つ星

以上の対象家電に買換えをされた方

◆応募方法

郵送またはインターネット

◆応募締切

10月7日（金曜日）

詳しくは県ホームページをご覧ください。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/050015/2022kadenkaikae.html>

問い合わせ 環境企画課 電話番号 023-630-2335

高齢者講習の予約はお早めに！

70歳以上の高齢運転者は、前もって自動車教習所で高齢者講習等を受講しないと、運転免許証の更新ができません。対象となる方には有効期限の6か月前に案内のハガキをお送りします。

運転免許証の更新をお考えの方は、ハガキが届いたらすぐに自動車教習所へ予約をお願いします。予約が遅れると、高齢者講習が受講できずに、運転免許証の有効期限が切れるおそれがありますのでご注意ください。

運転に不安を感じたらお電話ください。

安全運転相談ダイヤル

#8080（シャープハレバレ）

問い合わせ 県総合交通安全センター 電話番号 023-655-2150

おいしい山形空港

山形～名古屋（小牧）便 1日3往復！

〈8月1日（月曜日）から21日（日曜日）〉

期間中、1日2往復から3往復に増便されます。名古屋（小牧）まで最短65分！観光やビジネスにぜひご利用ください。

◆運航ダイヤ

山形発 10時50分 名古屋着 12時

山形発 16時20分 名古屋着 17時30分

山形発 19時25分 名古屋着 20時35分

名古屋発 9時15分 山形着 10時20分

名古屋発 11時05分 山形着 12時10分

名古屋発 17時50分 山形着 18時55分

詳しくは山形空港ホームページへ

<https://www.yamagata-airport.co.jp/>

問い合わせ 総合交通政策課 電話番号 023-630-3017

熱中症にご注意ください！

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためマスクの着用が求められていますが、気温・湿度が高い中でのマスク着用は、熱中症のリスクが高まるため注意が必要です。

【熱中症予防のポイント】

- 1 暑さを避ける
- 2 屋外では、近くで会話をしなければマスクは不要
- 3 こまめな水分補給
- 4 日頃からの健康管理
- 5 暑さに備えた体作り

問い合わせ がん対策・健康長寿日本一推進課 電話番号 023-630-2919

新型コロナウイルス 相談・受診の流れ

〈発熱やせきなどの「症状がある」場合〉

かかりつけ医療機関がある方は

診察券に書いてあるかかりつけ医療機関の電話番号へ

- ・ 受診前に、必ず電話で受診相談をお願いします。
- ・ 相談を受けた医療機関で対応できないときは、最寄りの対応医療機関をご案内します。
- ・ 発熱等の患者の診療や検査を行う「診療・検査医療機関」が診察します。

かかりつけ医療機関がない方は

- ・ 受診相談コールセンターへ電話相談

フリーダイヤル 0120-88-0006【24時間受付・土日祝日も含む】

- ・ 医療機関をご案内します
- ・ 発熱等の患者の診療や検査を行う「診療・検査医療機関」が診察します。

〈「症状がない」場合〉

- ・ 感染していないか心配
- ・ 予防方法を聞きたい 等

電話相談

一般相談コールセンター

フリーダイヤル 0120-56-7383【受付時間 午前8時30分から午後6時 土日祝日も含む】

厚生労働省の電話相談

フリーダイヤル 0120-56-5653【受付時間 午前9時から午後9時 土日祝日も含む】

山形県ワクチンコールセンター

フリーダイヤル 0120-56-7690

受付時間 午前8時30分から午後6時（土日祝日も含む）

聴覚や言語機能に障がいがある方については、以下の方法により受付しています。

ファクシミリ 023-625-4294（月曜日から金曜日（祝日除く）午前8時30分から午後5時15分）

プレゼントクイズ

「やまがた百名山」をはじめ山岳資源に恵まれる山形県。8月には、北海道・東北では初めて、第6回「〇〇〇」全国大会が山形蔵王を主会場に開催されます。〇〇〇には何が入るでしょうか？
ヒント4から5ページ 特集

1等 山形さくらんぼ鶏 スモークチキンもも【5名様】

株式会社オール食品工房

第2回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」畜水産加工品部門

最優秀賞（山形県知事賞）

2等 つや姫リオレ【10名様】

株式会社たかはたファーム

第2回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」菓子部門 最優秀賞

山形のうまいもの食品大賞（山形県知事賞）

正解者の中から抽選で賞品（指定はできません）をプレゼント！

はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Eメールでの応募の場合は、本文に①から③を入力し、タイトル「プレゼントクイズ」で、y-ayumi@pref.yamagata.jp に送信してください。

あて先

郵便番号 990-8570（住所は不要です）山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」7月号プレゼントクイズ係

締め切り 7月31日（日曜日）（当日消印有効）

注釈 応募いただいた個人情報は、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

<16 ページ>

タイトル **潜入レポート**

どうなってるの!?

鶴岡市立加茂水族館（愛称・クラゲドリーム館）

クラゲ展示種数世界一を誇る加茂水族館。

有名な大水槽には、いったいどんな秘密があるの？

直径約5メートルの美しすぎるクラゲ水槽。

その裏側には、職員たちの熱意と努力が！

加茂水族館は、1930年に山形県水族館として開館したことにはじまり、クラゲに着目したことがきっかけで2014年に現在の姿へリニューアル。県内有数の観光施設として知られています。同館の目玉は、直径約5メートル、厚み27センチの亚克力ガラスの大水槽「クラゲドリームシアター」。正面から見ると円形ですが、実は八角形の構造なんです。40トンもの水槽の水を入替えるために眼下の海から毎時2トンの海水を汲み上げて使用しているそう。驚くのは、この水槽をはじめ館内のクラゲの水槽の形や仕組みを考えたのは同館の館長ご自身ということ。クラゲの知識ゼロからはじめ、いろいろ工夫しながら展示に理想的な水槽を創ったのです。また、その技術は世界中の水族館などに公開され、クラゲの研究に生かされています。

写真キャプション1 円形ではなく、実は八角形！

写真キャプション2 裏側から見るクラゲの水槽

写真キャプション3 順路から見る「クラゲドリームシアター」

ヒミツポイント

<バックヤードはクラゲの研究所>

クラゲとして泳ぎ出す前の段階を「ポリプ」と呼びます。館内では数十種類にもおよぶポリプが大切に飼育され、成長したクラゲは水槽で展示されます。

<こだわりの淡水魚コーナー>

庄内にすむ淡水魚の展示スペースのジオラマは、模型の草木一つひとつまで庄内の自然環境を本物のように再現しています。

<旧館からの住人！ケサランパサラン>

見るものに幸福をもたらすというケサランパサランも展示。その正体は未だに謎ですが、新館に移った今も人気者。ぜひ見て行ってね。

<日本唯一、キタゾウアザラシに会える！>

2017年に保護された、キタゾウアザラシの「なおみ」。この種が展示飼育されているのは日本中でここだけ！ぜひ会いにきてね。

鶴岡市立加茂水族館 飼育主査

佐藤 智佳（さとうちか）さん

当館は世界中のクラゲと、庄内の海や川にいる生き物に特化した施設です。訪れた際には不思議に思ったことを好奇心に変えて、心の中に持ち続けてほしい。そんな皆さんが、いつか山形の海やそこにすまう生き物に関わる仕事をしてくれたら嬉しいです。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和4年7月号 628号

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>